

F SPORT PARTS(TRD)

MS341-53001/2
フロントスポイラー

取付取扱要領書

この度はF SPORT PARTS(TRD)フロントスポイラーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本商品を正しくお使い頂く為に、裏面の注意書と下記をよくお読みになった上で装着し、安全にご使用頂くよう、
お願い致します。なお本書は必ずお客様にお渡し下さい。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付は車両登録後に行ってください。
登録前に取付を行った場合、車両持ち込みの新規検査が必要となります。

品番・適合

品 番	塗 装 色	適 合 車 種	型 式	年 式	備 考
MS341-53001-A1	ホワイトノグ ガラスレク (083)	IS250 F SPORT IS350 F SPORT IS300h F SPORT	GSE30	'13.05 ~	ポップアップ フード対応品
MS341-53001-C0	ブラック (212)		GSE31		
MS341-53001-B0	ソニックタニム (1J7)		AVE30		
MS341-53002-00	未塗装品 (プライマー処理品)				

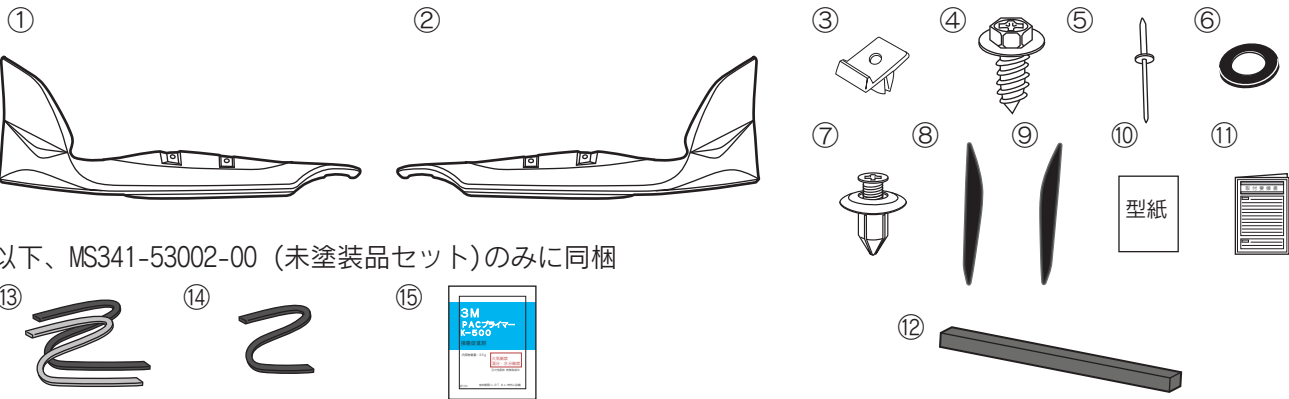
*ディーラーオプションを含み、他社製品との同時装着を想定しておりません。
他社製品との同時装着の際は、あらかじめ確認を実施してください。

構成部品

	部 品 名	品 番	数 量	備 考
①	フロントスポイラー RH		1	
②	フロントスポイラー LH		1	
③	グロメット		6	
④	タッピングスクリュー		6	6×16
⑤	リベット		4	
⑥	ラバーワッシャー		2	
⑦	クリップ		2	φ7用
⑧	別ピース RH		1	
⑨	別ピース LH		1	
⑩	型紙		1	A4シール
⑪	取付取扱要領書		1	本書
⑫	クッション		1	L=200mm

以下、MS341-53002-00 (未塗装品セット) のみに同梱

	部 品 名	品 番	数 量	備 考
⑬	モール		各1	黒/グレー L=500mm
⑭	モール		1	黒 L=270mm
⑮	PACプライマー		1	K-500



以下、MS341-53002-00 (未塗装品セット) のみに同梱

■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

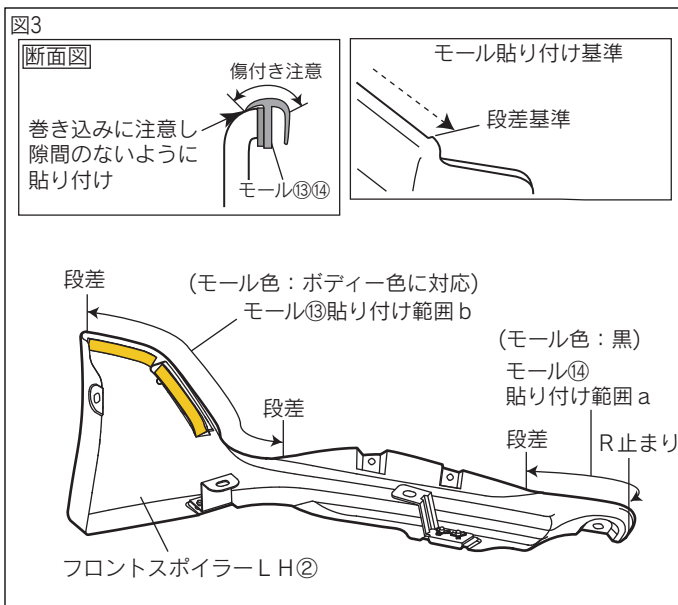
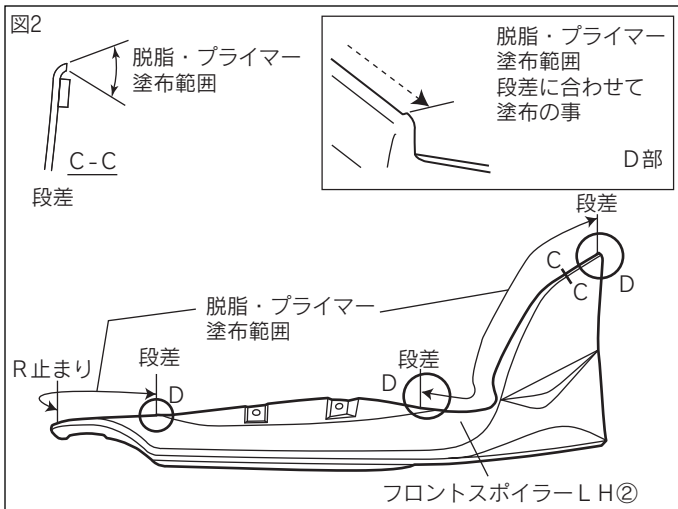
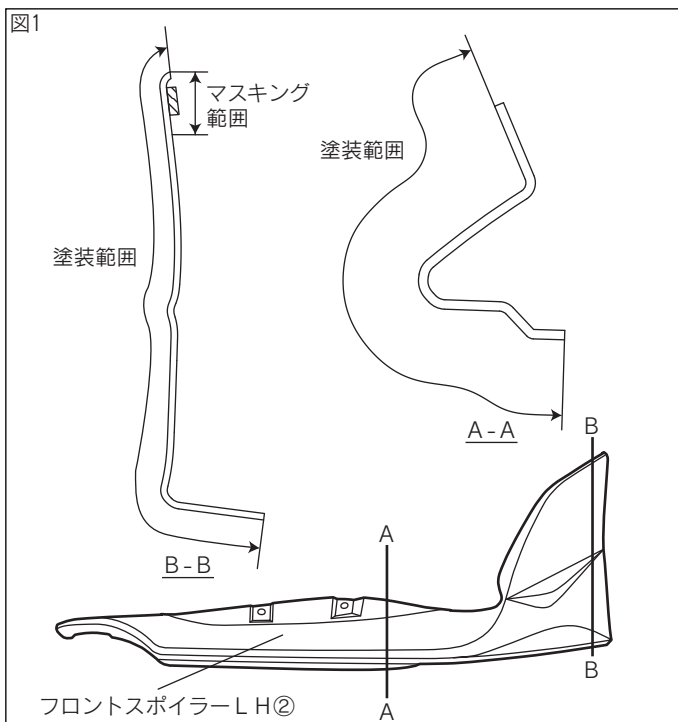
 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ずレクサス販売店で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所で作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **確認** 本商品は過去に事故歴のない車に、確実に装着が可能です。
-  **注意** 未塗装品セット (MS341-53002-00) は未塗装の為、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定し、70℃以下で乾燥させてください。
-  **注意** 未塗装品を塗装前に脱脂する場合、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフ及びシンナーは使用しないでください。
-  **注意** 焼付け塗装の際に、焼付温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが生じますので、焼付温度には十分にご注意ください。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 車両部品の取外しに際し、クリップ等の紛失や混乱が無いように、部品毎に整理し、復元する際、間違えないよう配慮してください。
-  **注意** 車両部品の脱着および車両へのフロントスポイラーの取付け時の傷付き防止のため、作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。
また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 外気温度が15℃以下の場合は、両面テープの接着力が低下しますので、テープ部及び取付面をドライヤー等で約40℃前後に加熱してから取付けてください。
-  **警告** 取付けの際は、指定トルクに従って各ボルト類を十分に締め付けてください。取付け時に緩みがあると徐々に緩みが大きくなり、脱落等により重大な事故、故障の原因となります。
-  **警告** 取付け初期は、ボルト類が緩みやすいので、数キロ走行後には必ず増し締めを行ってください。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用をお止めください。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、レクサス販売店にて点検を受けてください。
そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、商品によっては破損の原因になりますのでお止めください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。
上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品 (MS341-53002-00) の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□フロントスポイラーの塗装

- 図1のようにフロントスポイラーLH②を塗装する。

△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。
サーフェーサーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼り付け面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：焼き付け塗装の際、焼き付け温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、焼き付け温度には充分注意してください。
強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

□モールの貼付け

- 図2のようにモール貼り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方に向いて脱脂し、PACプライマーK-500⑮を塗布する。

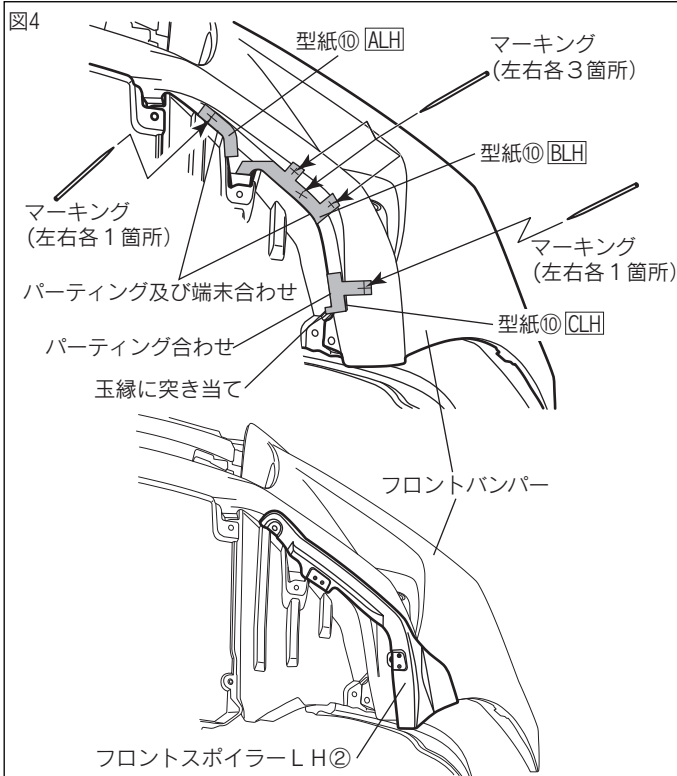
△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残し、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

🔧アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、10分以上乾燥させてください。

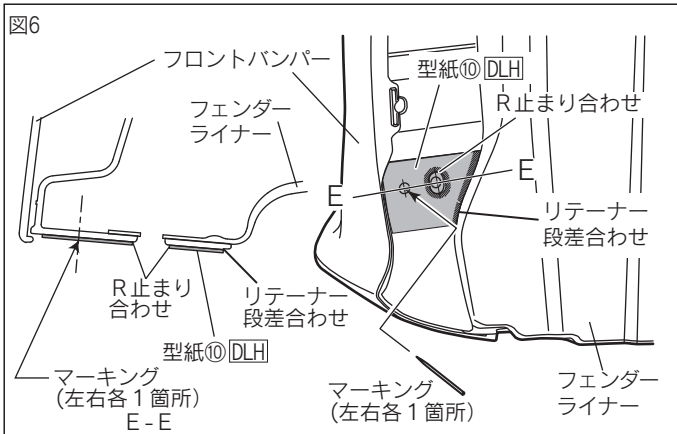
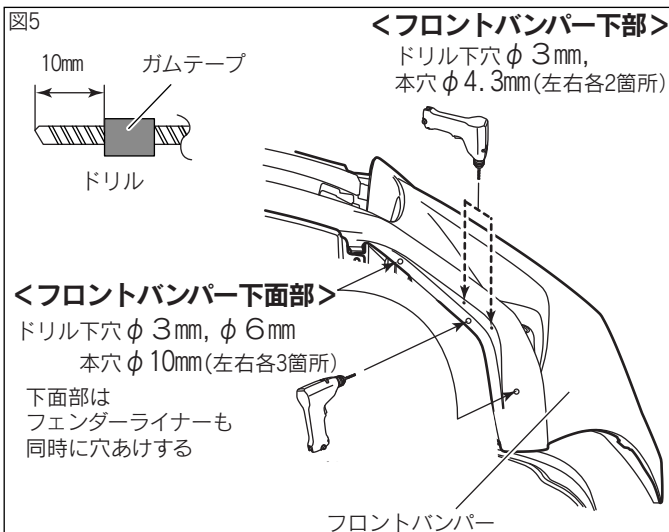
- 図3のようにフロントスポイラーLH②に、モール⑬⑭の両面テープの離型紙を剥がしながら、貼り付け圧着する。
{49N (5kgf) 以上}
モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

🔧アドバイス：モールは、二色同梱されています。貼り付け範囲aには⑭モールを、bには塗装色に合わせたモール色を選択し、⑬モールを貼り付けてください。

△注意：外気温が15℃以下の場合、両面テープの接着力が低下しているので、テープ面をドライヤー等で温めて(約40℃)取付けてください。



マーキング後、フロントスポイラーLH②を仮合せしてマーキング位置に問題無いか確認をする。



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□取付準備

1. 型紙⑩ ALH BLH CLH を台紙から剥がし、図4のようにフロントバンパーの下面部に貼り付けマーキングする。
(左右各5箇所)

アドバイス：穴あけ位置のマーキング後、フロントスポイラーLH②を仮合せして確認して頂くと、より正確な穴位置を出す事が出来ます。

2. 型紙⑩ ALH BLH CLH をフロントバンパーから剥がし、図5のようにφ3mm、φ4.3mm、φ6mm、φ10mmのドリル先端にストッパーとなるようガムテープを巻き付け、フロントバンパー下部をφ3mm、フロントバンパー下面部をφ3mm、φ6mmのドリルで順番にフロントバンパーのマーキング位置に下穴をあける。
(下部左右各2箇所、下面部左右各3箇所)

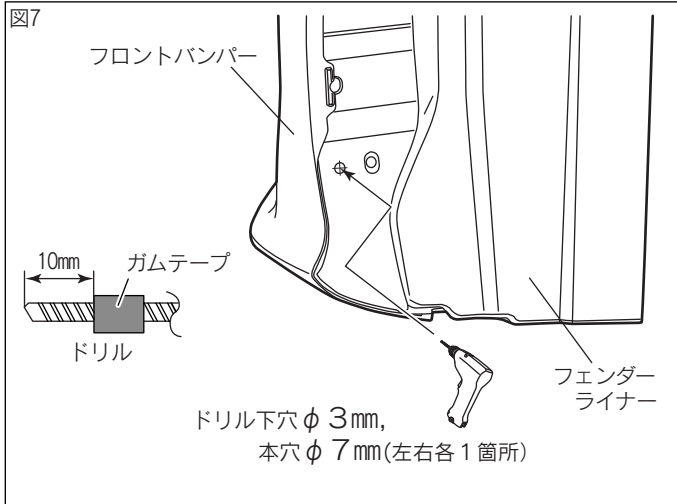
3. 図5のようにフロントバンパー下部をφ4.3mmのドリルで本穴をあけ、フロントバンパー下面部をφ10mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(下部左右各2箇所、下面部左右各3箇所)

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

4. 型紙⑩ DLH を台紙から剥がし、図6のようにフロントバンパーのホイールハウス部に貼り付け、マーキングする。
(左右各2箇所)



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

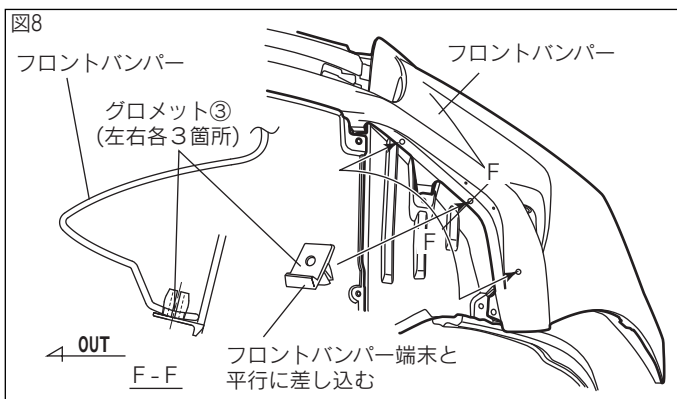
5. 型紙⑩DLHを剥がし、図7のようにφ3mm φ7mmのドリルの先端にストッパーになるようにガムテープを巻き付け、φ3mmのドリルを使用してフロントバンパーホイールハウス部のマーキング位置に下穴をあける。(左右各1箇所)

6. 図7のように下穴にφ7mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。(1箇所)

⚠ アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

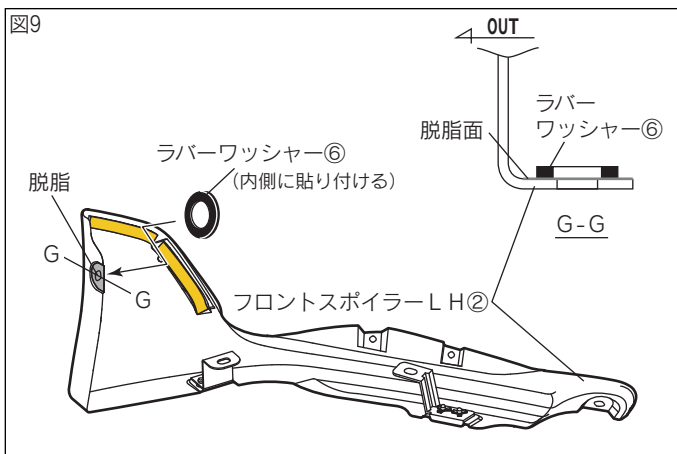
⚠ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠ 注意：バリを取り除く時には、穴径が大きにならないように注意してヤスリ等で取り除いてください。



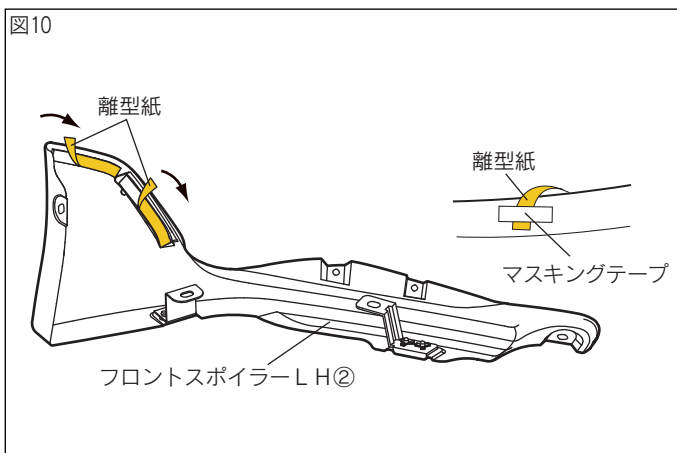
7. 図8のようにフロントバンパーにグロメット③を向きに注意しながら差し込む。(左右各3箇所)

⚠ 注意：図8のようにグロメット③の差し込む向きに注意してください。逆に取り付けるとフロントスポイラーLH②が取り付けなくなります。



8. 図9のようにフロントスポイラーLH②のホイールハウスの内側を脱脂し、ラバーワッシャー⑥を貼り付ける。(左右各1箇所)

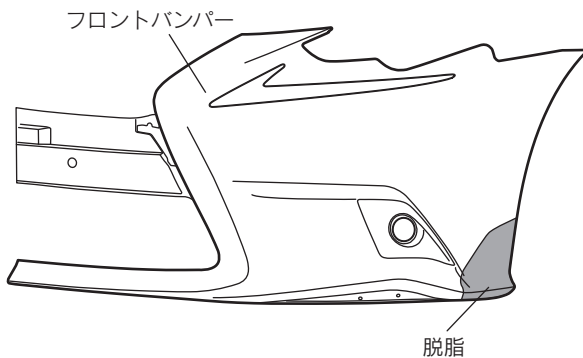
⚠ 注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。



9. フロントスポイラーLH②の両面テープの離型紙を、図10のように矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼り付ける。(左右各2箇所)

⚠ 注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取り付け位置に取り付けが出来なくなります。

図11



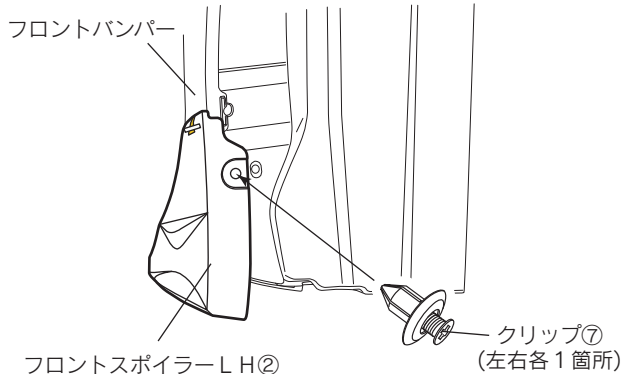
※本取付・取扱要領書は、主にL H側を示しており、R H側も同様に行ってください。

10. 図11のようにフロントバンパーのフロントスポイラーL H②取り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向にふいて脱脂する。

⚠警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください。

⚠注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

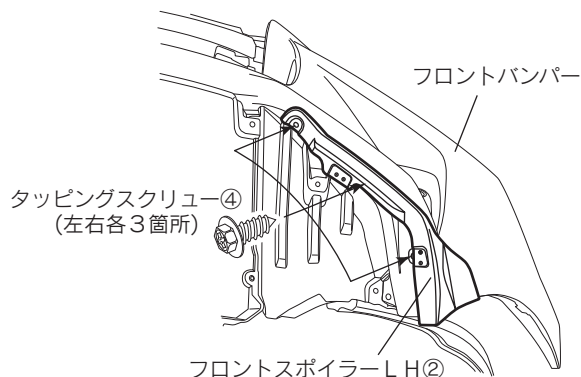
図12



□取付要領

1. 図12のようにフロントバンパーにフロントスポイラーL H②を合わせ、ホイールハウス部をクリップ⑦で固定する。
(左右各1箇所)

図13



2. 図13のようにタッピングスクリュー④を仮締める。(左右各3箇所)

3. 図14を参考に、フロントスポイラーL H②の両面テープの離型紙(左右各2箇所)を図の番号順に剥がしながら貼り付け、圧着する。**{49N(5kgf)以上}**

⚠注意：外気温が15℃以下の場合、両面テープの接着力が低下しているので、テープ面をドライヤー等で温めて(約40℃)取付けてください。

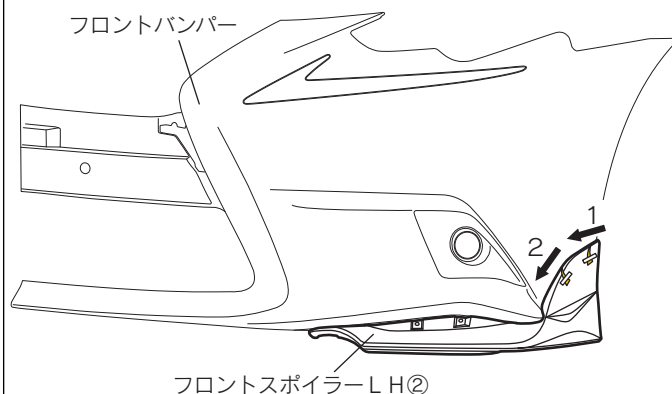
⚠注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

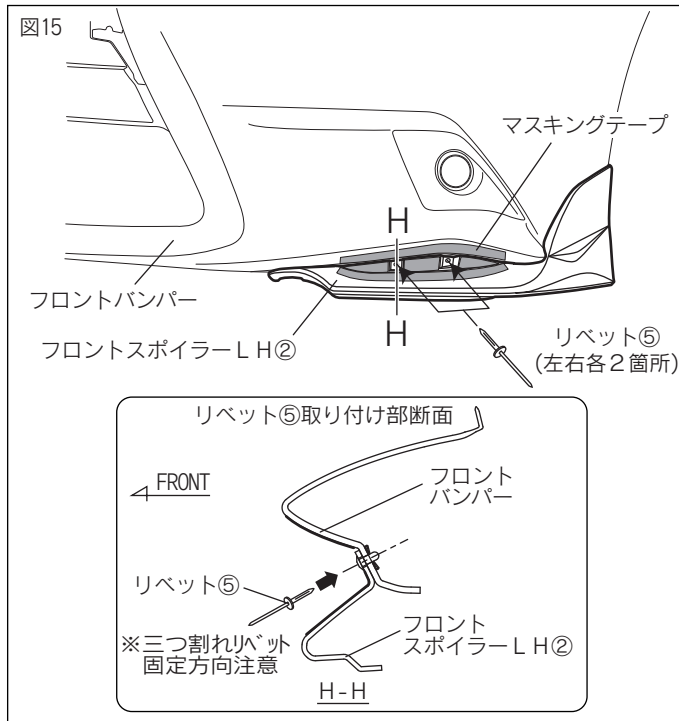
⚠注意：両面テープの離型紙を図14で指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

⚠注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

⚠注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

図14



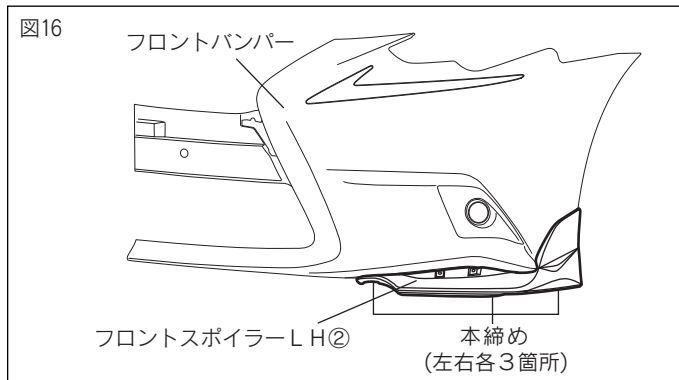


※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

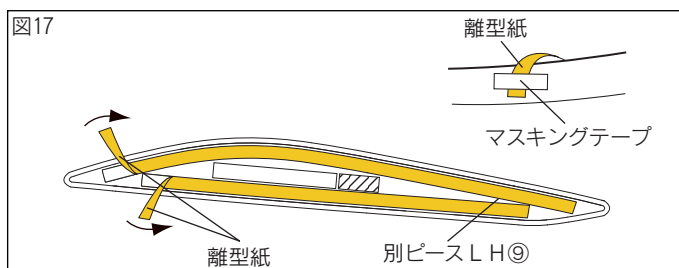
4. 図15のようにリベット取り付け部周辺のフロントバンパー及びフロントスポイラーをマスキングテープ等でマスキングし、リベット⑤を取り付ける。
(左右各2箇所)

⚠ 注意：マスキングをせずにリベットの取り付けを行うと、フロントバンパー及びフロントスポイラーを傷付ける可能性があります。

5. マスキングを剥がす。

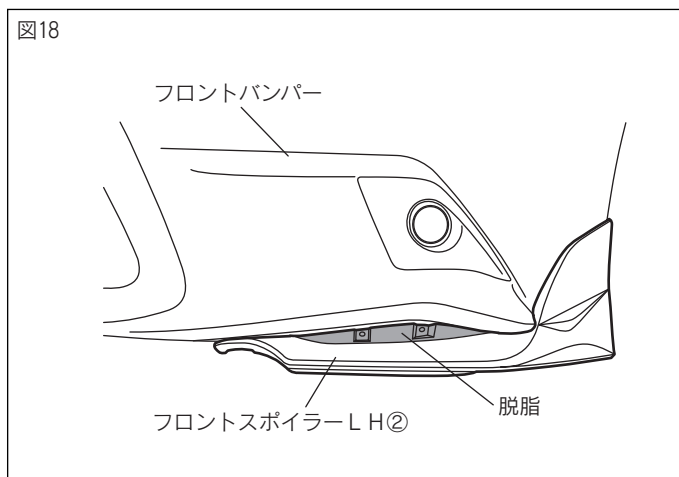


6. 仮締めしているタッピングスクリュー④を本締めする。(左右各3箇所)



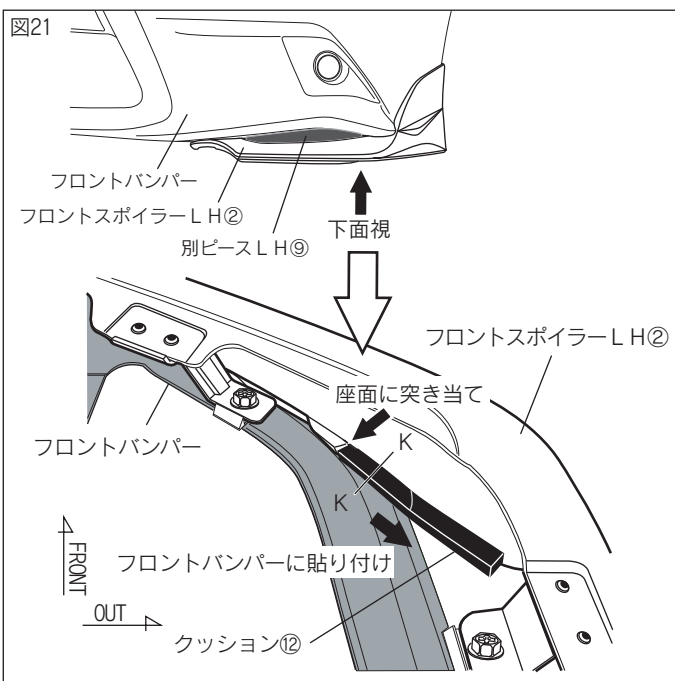
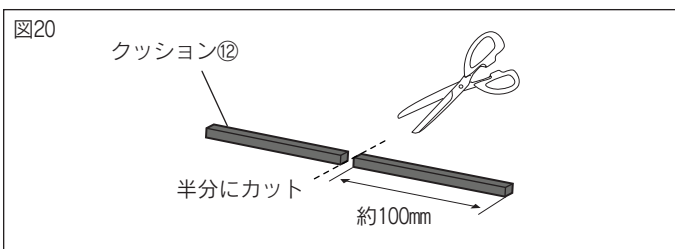
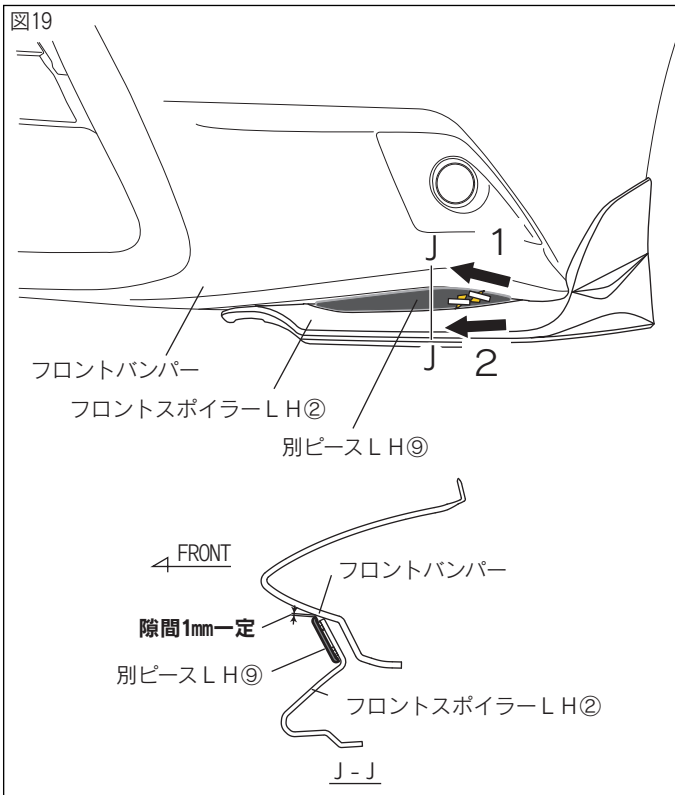
7. 図17のように別ピースLH⑨の両面テープ離型紙を矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼り付ける。
(左右各2箇所)

⚠ 注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取り付け位置に取り付けが出来なくなります。



8. 図18のように取り付けしたフロントスポイラーLH②の別ピース取り付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向に払って脱脂する。

⚠ 注意：脱脂を行う際はIPA又はホワイトガソリンを使用し、パーツクリーナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。



■取付完了後の点検・注意事項

1. フロントスポイラー、及びフロントバンパーがタッピングスクリュー・クリップ・リベットにて、車両に確実に取り付けられているか点検する。
2. フロントスポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

9. 図19の断面図を参考に、別ピースLH9の両面テープの離型紙（2箇所）を図19の番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。
{49N (5kgf) 以上}

△注意：外気温が15℃以下の場合、両面テープの接着力が低下しているので、テープ面をドライヤー等で温めて(約40℃)取付けてください。

△注意：両面テープの離型紙を剥がす際、離型紙を切らない様にしてください。

△注意：両面テープの離型紙を図14で指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△注意：両面テープは圧着ムラのない様に十分に圧着して下さい。
圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

10. 図20を参考に、クッション12を半分(約100mm)にカットする。

11. 図21を参考に、フロントバンパー下面部のクッション12貼付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで方向に拭いて脱脂する。

12. 図21を参考に、製品端末に沿ってフロントバンパー下面部にクッション12を貼り付ける。

